

# 紫峰会報

第77号

2001年9月26日発行

E-mail admin@shihoukai.gr.jp

URL http://www.shihoukai.gr.jp/

編集・発行 紫峰会[筑波大学学生後援会] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保3-10-7学園都市ビル3F Tel0298-52-8572



## 夏休みだから筑波を出て 今しかできない 思い出作り



写真 左上：海洋研究会(文サ連)夏合宿  
左：野生動物研究会(文サ連)夏合宿  
上：アメリカンフットボール部(体育会)夏合宿

### インターンシップ体験記

社会学類都市計画専攻では実習の一環として、夏休みにインターンシップへの参加を行っています。私は7月30日から8月10日までの2週間、東京都でインターンシップ研修を受けました。東京都では今年度からインターンシップ生を受け入れることになり、その第1期生として東京都立大学、早稲田大学、日本大学などから33名が参加し、それぞれの部署に配属されました。私は都市計画局施設計画部交通企画課でインターンシップ実習を行いました。目的は東京の交通政策を現場見学も交えながら学んでいき、報告書



研究対象のコミュニティーバス

を作成することでした。

実習の主な内容とは「地域密着型バスのあり方について」を考えることでした。これは近年増えてきた100円バスのことです。現在では路線バスの多くが赤字を抱えており今後も廃止路線が増えていき、交通空白地域が増えていくと思われる。そういう状況の中でどのようなバスがあれば住民に利用してもらえるものになるのか、都内のコミュニティバスの視察も交えながら考えることができました。

この実習を通じて感じたことは、「東京は良い意味でも悪い意味でも地方の手本となる街である」ということでした。これは政策面だけではなく職員の職業意識についても同様です。いままでは公務員は与えられた仕事をこなすだけというイメージしかありませんでした。しかし都庁の職員は仕事に対して主体的に取り組んでいて、職員がいきいきとしていました。

今後も都市計画専攻だけに限らず、他学類からもインターンシップで東京

都庁に行ってもらいたいと思います。東京には講義で習うものが全て揃っていますし、福祉関係の部署でも実習ができます。これは他の自治体でも体験できると思いますが、東京だからこそできること、東京だから実行が難しいことなど、様々な場面で体験できると思いました。

2週間という短い期間でしたが、筑波に住んでいてはわからない社会を味わうことができました。この実習の経験を今後の就職活動や勉強に生かしていきたいと思います。(寄稿/吉永智則・社工3年)

### 今後の予定 (2001年内/学年暦から)

10/1	開学記念日
10/6-8	第27回雙峰祭
10/27-28	秋季スポーツ・デー
11/16-26	第二学期期末試験
11/27-30	秋季休業
12/3	第三学期授業開始
12/26-1/6	冬季休業

# Campus News

## 第二学期入学者 卒業式及び入学式開催

外国の高校を卒業した帰国子女入学生は8月に入学、7月に卒業となる。今年も7月25日(水)午前11時より、第一学期末大学院学位記授与式が、午後1時より大学卒業式が行われた。大学院卒業生69名(出席者51名)は荘厳な面持ちで、学長の「今日は自分自身をほめてあげて、さらに周りの方々に感謝してほしい。」という言葉をかみしめていた。それとは対照的に、25名の学群学類卒業生たちはカジュアルな服装で、終始うちとけた雰囲気だった。学長は「海外在住経験があり国際性を持っている皆には、ぜひ世界に活躍して幅広い人間性を育ててほしい。」と今後への期待を語った。対する自然科学類生の奥井啓介さんによる謝辞は「万物すべてこれ我が師なり」を実践していきたいという決意にあふれたものだった。

二週間後の8月8日(水)午前11時より院生・学群学類生合同の入学式が行われた。大学院生3名学群学類生38名は、学長の「21世紀の国際社会を負って立つ人間になってほしい。」という期待に応えるように明るい表情をしていた。(取材/由良紀子 文サ連広報局長・人間2年)

## 学生組織総会を終えて

一年前の夏の初め、全代会と三系で懇親会を持ちました。その時の私は、今などよりずっと未熟で、その前の年に折角始まった全代会と三系の交流の機会を途絶えさせたくない、ただその思いだけで懇親会を企画したのですが、その後9月に行われた交流会を含めて、決して成功とは言えない内容でした。その後の交流が進むような兆候はあまり見られなかったのです。組織の成り立ちや構成、設立理由、目指しているものなどがまちまちで、一概に交流や相互協力を、と言ってもなかなか難しいと言うのが現状でした。

そうは言っても、特にこれからの時代、組織同士の横が繋がりを持つ事は計り知れない意味を持つだろうし、何より上手く連携が取れたら『もっと面白いことが出来るんじゃないか』と言う私自身の身勝手な思いもありました。そんな中で持ち上がってきたのが今回の「学生組織総会」でした。この会は『筑波大学の学生組織が一堂に会して、各々の長が自分の組織の現状と将来の展望、“夢”を語り合う場を』と言うコンセプトのもとに7月4日、大学会館ホールで行なわれました。まだ物足りない部分も多いのですが、このイベントは開くことそれ自体意義があったと確信しています。その証拠にこの会以降、各組織同士の新たな交流が生まれました。今はまだ小さな一歩ですが、此処からが本当の変革の時だと

思います。そう、此処より永久にその流れが続いていくように努力していくことこそが、一番大事なのです。(寄稿/高石友博・文化系サークル連合会第26期運営委員長)

## 大学院入試(8月期)実施

8月下旬～9月上旬にかけて理系の大学院入試が行われた。院試を迎える学生には、大学入試を控えた高校生とは違うものがある。何人かの受験生に話を聞いてみたが、すべての人に共通していることは「大学入試と違って、勉強することが辛いものではない」ということであった。バイトやサークル、卒業研究等もあり時間的に大変で、肉体的な余裕はないが、「大学院は自分のやりたいことをするためにいくもの。院試の勉強も大学入試とは違い苦にはならなかった。自分の勉強したいことをしているので、面白ささえあった。」と言う。大学を卒業すると、大学院進学と就職に分かれることになる。大学院入試を受けた一人が「(進学も就職も)どちらもいい。要はその人の気持ち次第。中途半端な気持ちなら、どちらにしてもあまり良い結果はでないと思う。」という。「自分のやりたいことならば多少余裕が無くても頑張れる。」と。今後は文系(修士)が11月に、文系(博士)が2月に試験を実施する。「自分のやりたいこと」に向かって頑張りたい。(取材/佐々木通年 芸サ連広報局長・社工2年)

## 就職ガイダンス等日程表

ご用意に、是非参加をお勧めください。 お問い合わせ 学生部就職課 0296-53-2254

企画名	日時・場所	講師	実施内容・注意事項
就職ガイダンス 第7回	10/3 13:45～2H101	(未定)	業界研究(製造業[機械])
就職ガイダンス 第8回	10/3 15:00～同上		業界研究(製造業[食品])
就職ガイダンス 第9回	10/10 13:45～2H101	月刊「飾」/マスコミ製菓本 編集長 藤田博之氏	業界研究(製造業[食品・広告])
就職ガイダンス 第10回	10/10 15:00～同上		業界研究(製造業[出版・印刷])
就職ガイダンス 第11回	10/17 13:45～2H101	毎日コミュニケーションズ 企画推進部部長 土屋芳明	講演 「理系(技術系)の就職活動」
就職ガイダンス 第12回	10/24 13:45～2H101	就職内定学生 各学類・研究科から6名	内定者報告会
就職ガイダンス 第13回	11/7 13:45～2H101	国際協力事業団国際センター 国際協力総務課 世界旅行 など	国際協力機関 ※N787(イノベーション)形式で説明
教養 第1回	10/31 13:45～2H101	日経事業出版社 採用ユリコ社 堀田恵子氏	自己分析講座(1) ※要事前申し込み
教養 第2回	11/5 13:45～2H101	日経事業出版社 採用ユリコ社 堀田恵子氏	自己分析講座(2) ※要事前申し込み
教養 第3回	12/5 13:45～2H101	ベネッセグループ(株)速研アド 採用ユリコ社 菊地信一氏	エントリーシート実践講座 ※要事前申し込み
教養 第4回	12/12 13:45～2H101	学生支援会講師	適性検査実践講座 ※要事前申し込み
教養 第5回	12/19 13:45～2H101	ベネッセグループ(株)速研アド 採用ユリコ社 菊地信一氏	模擬面接実践講座 ※要事前申し込み

## 今夏の世界選手権に出場した筑波大生とOB・OG一覽

名前	種目	
水泳	高橋 篤	50m男子背泳ぎ 100m男子背泳ぎ 400m男子フリースタイル (6位/第一走・背泳ぎ)
	高安 亮	50m男子バタフライ 100m男子バタフライ
	水戸 奉子	50m女子自由形 100m女子自由形 400m女子フリースタイル (第一泳者・自由形)
	大西 順子	800m女子フリースタイル (第三泳者・自由形)
柔道	新谷 聖	女子78kg超級 2位
	谷本 歩実	女子63kg以下級 3位
	金丸 穂	男子73kg以下級 2位
陸上	谷川 慶	男子110mハードル
	横山 学	男子棒高跳び
上	杉林 孝法	男子二段跳び

## 筑波大生食生活特集第二弾

実家からの  
「荷物」大調査!!

驚いたことに、米を自分で買ったことがないという人がいます。聞くと「実家から送られてくる」のだそうで、周りに聞いてみても、実はこういう学生が多いということに気がつきました。そこで「実家から送られてくる荷物」が筑波大生の食生活に関係があるのでは?と問い、どんなものが荷物の中に入っているのか尋ねてみました。調査方法は前回同様、紫峰会事務所に来た学生、文サ連・芸サ連・体育会の学生中心として63名に、実家からの荷物に関するアンケートに協力してもらいました。

まず「実家から荷物が送られてくる」と答えた人は63人中56人。ほとんどの学生のところ実家から荷物が届いている。送られてくる頻度の平均は、「2.76ヶ月に一回の割合」という集計結果が出た。一方「送られない」と答えた人の多くは茨城や関東出身の人で、実家に気軽に帰れるため、荷物を送る必要がないのだろう。

さてその荷物の中身については、一番多かったのはやはり食料で、内容は米・野菜・果物・インスタント食品が主だった。「手持ちのお金がない時に助かる」ということで、実家からの荷物が食費を浮かせている部分も多いと思う。米と答えた人は12人いて、北

陸など米どころの出身者が多かった。衣類と答える人も多かったが、季節の変わり目に送られてくるのだそうだ。その他は、日用雑貨・請求物など。

では送られてきて嬉しかったものは?ここでも食料が一番だった。具体的には、旬の山の幸・おばあちゃんのトウモロコシ・さーたーあんだぎー(沖縄出身の人)・自家製梅酒・地酒など、つくばではなかなか手に入れないものだった。そして手紙という回答も多かった。親からもらう手紙は照れくさいが、嬉しいものだ。手紙ではなく、中にはメッセージ付のりんごや、親戚の方々の声が入った応援テープというちょっと凝ったものもあった。

逆に送られてきて困ったものは次のようなもの。もう着ない服・開けるとこのない缶詰・腐ったレタスやトマト・割れた瓶に入った漬物・3ヶ月連続の乾燥ワカメ・手作りなのにクール宅急便じゃなかったものなど。中には「妹の夏休みの宿題」というのがあった。確かにこれは困る。答えた人に詳しく聞いてみると、高2の数学らしく、分からなくて置いたままにしていたら「宿題はまだか?」と実家から電話が頻繁にかかってくるそうだ。自分のじゃない宿題に追われるのは辛いだろうな・・・。

他に荷物の中にあってびっくりしたものについても聞いてみた。のこぎり

(?!・豆腐(?!・カツ丼(?!・はるか昔の服・金一封5万円(羨ましい)・ピククリマンチョコ・スリッパ・ぬいぐるみなど。どれもびっくりだが、個人的には特に初めの3点はどのような意図で送られてきたのか興味がある。

このように実家からの荷物は学生にとって、経済的な面も含め嬉しい贈り物となっているようだ。そして贈り物にまつわるエピソードは人それぞれ様々である。荷物そのものも嬉しいが、何よりの贈り物は、それに込められた家族の気持ちなのかもしれない。(文責/福井晶子・社工3年)

## アンケート集計結果

回答総数：男性 34人/女性 29人  
内訳：1年生…6人/2年生…32人  
3年生…18人/4年生…3人  
それ以上…2人

## &lt;荷物が送られてくる頻度&gt;

0.5ヶ月に1度	・・・1人
1ヶ月に1度	・・・5人
1.5ヶ月に1度	・・・11人
2ヶ月に1度	・・・15人
2.5ヶ月に1度	・・・4人
3ヶ月に1度	・・・8人
4ヶ月に1度	・・・7人
6ヶ月に1度	・・・5人
送られてこない	・・・7人

## 学生相談室から

受付窓口 0298-53-2415  
電話相談 0298-53-2406

## 「学生期」

杉江 征(心理学系)

大学生活を、一つの発達上の期間としてとらえるという研究があります。日本では名古屋大学の鶴田先生が主に研究をされており、そこでは、入学期と中間期、卒業期、後卒業期というふうに大学生活サイクルが分けられています。全体的に見ると、入学期は今までの生活からの分離や新しい生活の開始という大学生活への移行が課題となり、中間期では自分らしさの探求や中だるみ、現実生活と内面の統合というような大学生活の展開が課題となります。卒業期では、社会生活への移行や

青年期後期の節目、現実生活での課題(卒業研究や就職活動)を通して内面を整理していくなどまさに大学生活を終了することが課題となってきます。また、後卒業期は大学院等に相当するところで、研究者・技術者としての自己形成が課題となってきます。そして、各論的には学業や進路、大学生活、対人関係、親子関係など、それぞれの「期」で様々な課題やテーマが現れてきます。

日頃、学生諸君は保護者の皆さんのところから離れて生活しているので、実際筑波でどのように生活しているかはなかなか見えないものですが、上述したように様々な課題やテーマに取り組んでいるといえます(本人が意識しているかどうかは別として)。遠くから見ていると、サークル活動やアル

バイトばかりやっつけてちゃんと勉強をしているのか不安になることもあるかもしれませんが、「学生」であることによって様々な貴重な体験を積んでいるともいえるでしょう。サークル活動やあるいは恋愛であっても、それは人との関係を学ぶ場でもあり、また、深く人と接すれば接するほど「自分」が問われてくる場でもあるのです。学業や進路も含めて、学生相談室では大学生活をこのような一つの成長の場として考え、個々の学生諸君が自分なりの輝きを発現できるよう心理教育的な発達の支援として一人一人丁寧に関わっていきたく思っております。保護者の方々から見て何かご心配の点等ございましたら、ぜひ声をかけてください。

## 第47回紫峰会理事会

去る6月16日(土)午後3時より、筑波研修センター第2研修室において、第47回紫峰会理事会が開催され、下記の各議題について審議がなされた。

平成12年度事業報告書が承認された。概要は次の通り。

年度末時点での平成12年度入学者父母等(学群・医短)の入会率は60.9%となった。大学院平成12年度入学者父母等の入会率は12.2%であった。また、職員清水敏樹が11月に入院・12月に死亡したが、夏頃より体調不良により担当業務である協賛会員入会案内の遅れなどもあり、資金繰りの関係から定額貯金を2000万円分解約した。

UTコレクション企画室のもとにUTCubを設置し、新商品の開発を行ったが、開発が遅れ販売実績を伸ばすことができなかった。しかし、新年度に向けて新商品23品目が出そろった。本年度新たに実施した事業は、UTlifeの発行であった。この他、本年度充実を図った事業は、学生向けのDTP関連サービス、団体等のOB会事務サポート、追越店舗の運営であった。

平成12年度収支計算書が承認された。概要は次の通り。

平成12年度収支計算書は、一般会計と収益事業特別会計にそれぞれ収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表を作成し、併せて総括表の作成を行った。なお、収支科目については、公益法人会計基準に基づいて設定した科目となっている。グラフは何れも事業区分別内訳となっている。

一般会計の収支計算書では(グラフ1参照)収入の部では、大部分を会費が占めており、その他貸付金返還収入・預金利息・寄付金等となっている。また、支出の部では、支出総額に対し各事業の割合は、課外活動助成事業費が50.6%であり、このうち助成金支出は22,749,464円(父母等会費収入の55.6%)であり、学生生活支援事業費は12.8%、広報普及事業費は21.5%、管理運営費は15.2%であった。会費収入は昨年と比較して入会率の低下により1,100万円ほど少ない4,094万円となり、またデータベースシステム更新のため、固定資産取得として約200万円の支出があったことなどにより、当期収支差額が-2,083万円となった。

収益事業特別会計(グラフ2参照)では、営利部門(UTコレクションやその他事業)・非営利部門(厚生会業者としての追越店舗運営・コピー印刷サービス・OB会サポートサービスなど)と

なっているが、収益事業収入は昨年の1200万円から1700万円と増加したが、これに伴って、事業費や仕入が増加したことから、営利部門の利益で非営利部門の損益(学生サービス)を補うことができず、約226万円の損失となった。

また、伊能監事より理事会に先立って行われた監査について所見があり、関係諸帳簿の記載に問題がないことが報告された。

なお、事業報告書・収支計算書の詳細については、紫峰会ホームページ(URL <http://www.shihoukai.gr.jp/>)を参照されたい。

平成12年度役員交代が承認された。学都資金財団の人事異動により、筑波学都資金財団事務局長・筑波研修センター所長が交代し、本会役員についても交代させて欲しいとの申し出があり、本理事会をもって承認された。

平成13年度父母等入会状況が報告された。

平成13年度の学群・医療短大父母等の入会状況について、5月末時点での入会率が、61.2%であり、昨年に比べて好調であることが報告された。

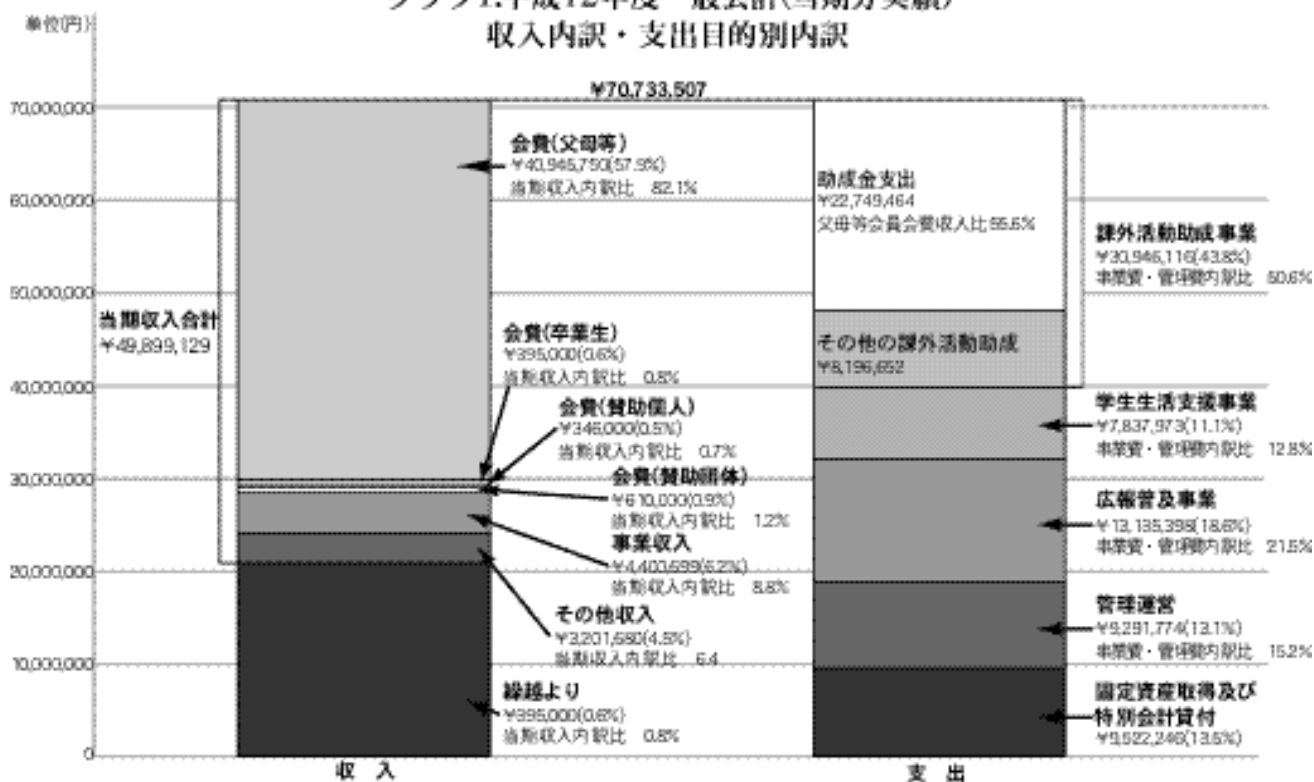
理事会終了後、紫峰会役員・顧問・三系学生・紫峰会関係学生を交えての懇親会が和やかに行われた。

### 平成12年度課外活動団体援助金配分額ランキング

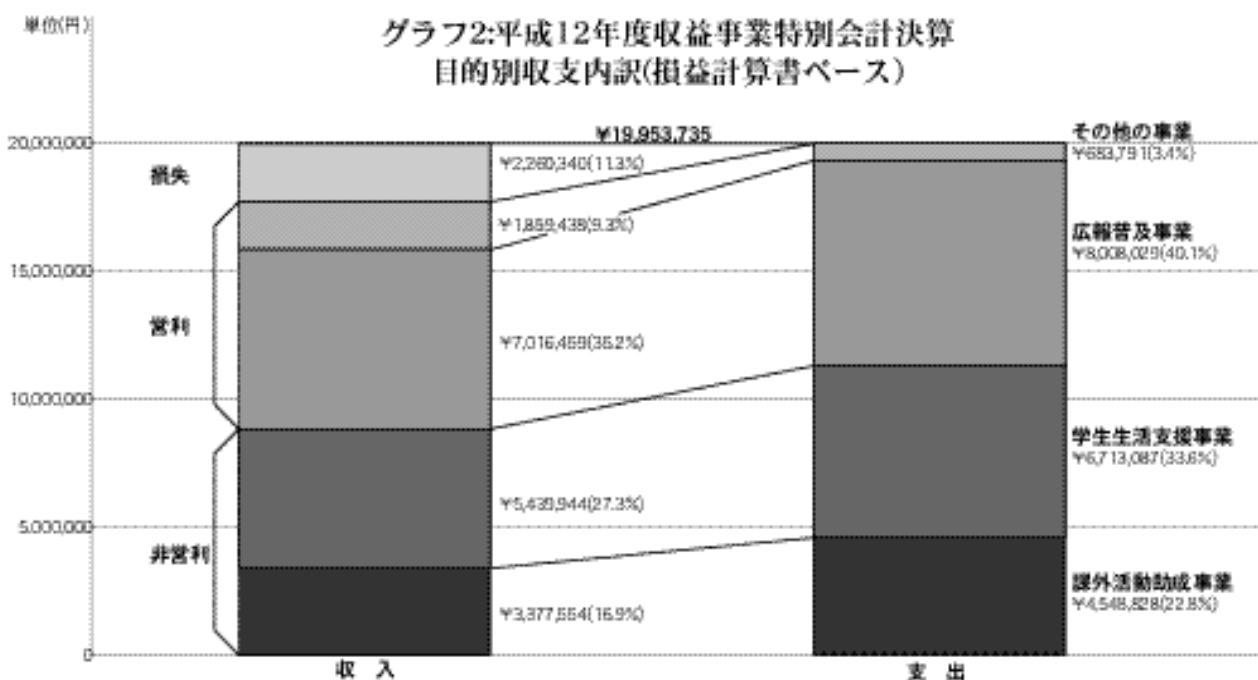
文サ連(全34団体中上位10団体)		5	オリエンテーリング愛好会	307,695	
順位	団体名	援助金額	6	卓球部	304,332
1	歌留多部	261,056	7	アイススケート部	293,665
2	海洋研究会	193,672	8	バドミントン部	292,284
3	天文研究会	119,611	9	女子ハンドボール部	285,969
4	ESS	110,291	10	アメリカン・フットボール部	264,123
5	マジシャンズクラブ	92,131	11	陸上競技部	239,817
6	鉄道研究会	83,965	12	女子バレーボール部	232,379
7	野外活動クラブ	64,591	13	男子ハンドボール部	231,464
8	ITC	62,751	14	ヨット部	227,274
9	茶道同好会	58,619	15	軟式庭球部	198,819
10	茶道部和敬清寂社	56,357	体育会医学支部(全19団体中上位10団体)		
芸サ連(全27団体中上位10団体)		1	医学アイスホッケー部	585,042	
1	舞踏研究会	722,280	2	医学スキー部	331,576
2	管弦楽団	695,789	3	医学サッカー部	313,085
3	混声合唱団	339,920	4	医学硬式庭球部	295,187
4	応援団桐葉	297,302	5	医学水泳部	285,244
5	吹奏楽団	248,984	6	医学卓球部	244,497
6	無絃塾	138,054	7	医学ソフトテニス部	184,326
7	筑波能狂言研究会	104,676	8	医学ゴルフ部	162,839
8	JAZZ愛好会	101,385	9	医学バレー部	142,805
9	筑波放送協会	77,459	10	医学ヨット部	118,948
10	筑波音楽協会	72,490	団体名		
体育会(全55団体中上位15団体)		文化系サークル連合会		1,588,091	
1	アイスホッケー部	647,735	芸術系サークル連合会		3,198,988
2	水泳部	593,177	体育会		9,038,536
3	バドミントン同好会	337,349	体育会医学支部		3,174,385
4	ラグビー部	313,893	合計		17,000,000

平成13年度 紫峰会役員名簿	
会長	山本 興四郎 〔修士課程理工学研究科1年生父〕
副会長	田中 正造 〔筑波学都資金財団事務局長〕
副会長	斉藤 浩一 〔同窓生・文サ連初代運営委員長〕
常務理事	大森 哲郎 〔同窓生・紫峰会事務主幹〕
理事	中村 和憲 〔医療短大3年生父〕
理事	飯塚 智準 〔人文学類4年生父〕
理事	菱沼 かづこ 〔日本語日本文学類3年生母〕
理事	友常 一洋 〔医学専門学群5年生父〕
理事	関口賢一郎 〔筑波研修センター-所長〕
理事	角海 紀雄 〔同窓生・芸サ連第3期会長〕
理事	小林 千洋 〔同窓生・体育会初代委員長〕
理事	児玉 恵利子 〔同窓生・医療短大卒〕
監事	吉永 イキ子 〔社会工学類4年生母〕
監事	伊能 健 〔学生宿舎管理事務所長〕

グラフ1:平成12年度一般会計(当期分実績)  
収入内訳・支出目的別内訳



グラフ2:平成12年度収益事業特別会計決算  
目的別収支内訳(損益計算書ベース)



平成13年度紫峰会協賛会員(平成13年9月現在)

茨城リコー株式会社	ホテルスワ
オルガノ株式会社	ホテル松島
株式会社アジア住販	三井海上火災保険株式会社
株式会社システムポート筑波	有限会社グッドライフ
株式会社ジャスティー	有限会社柿本ハウジング
株式会社筑波学園自動車学校	有限会社ネクスト
株式会社リクルートスタッフィング	有限会社むうじゅ
黒田印刷株式会社	ラグーン
つくば国際アカデミー	《特別会員》
東海建設株式会社	財団法人筑波学都資金財団

コンテンツ充実!  
紫峰会ホームページ

紫峰会ではホームページを開設し、大学や学生生活の情報、クラブ・サークルの試合や公演予定など、随時更新し、リアルタイムな情報提供を目指しています。是非ご覧ください。

URL <http://www.shihoukai.gr.jp/>  
E-mail [admin@shihoukai.gr.jp](mailto:admin@shihoukai.gr.jp)

## Circle Headline

### サークル紹介 野外活動クラブ (文サ連)

「野外活動クラブ」は、設立から今年で28年目を迎えました。キャンプ、登山などを主な活動としています。また、毎年夏休みには対外行事として、つくば市近郊の小学生を対象とした、「子供村サマーキャンプ」を行っています。今年度の子供村サマーキャンプは、群馬県高山村のキャンプ場で二泊三日で行いました。天体観測や肝だめし、キャンプファイヤー、ハイキングなどを楽しんでもらいつつ、自然というものを感じてもらいました。我々としては、反省する点多々ありましたが、後日集めた子供たちの感想文のすべてに「楽しかった」、「来年もまた参加したい」という文字があるのを見ると、やって良かったと思うと共に、来年はもっと良い活動にしようというエネルギーにもなりました。



文サ連ソフトボール大会に笑顔で優勝

一番大きなイベントとしては、夏休みに行く「長期キャンプ」というものがあります。昨年は北海道、今年は九州を約2週間かけてまわりました。電車やフェリーを使って、長崎の五島列島(中通島)、阿蘇山、霧島、屋久島などを回りました。特に印象に残っているのが屋久島で、縄文杉やうまい水、うまい空気、美しい海を満喫できました。このキャンプを通して、また新たな連帯感を得ることができました。

普段の活動では、それぞれ気の合った者同士で、登山やハイキングに行ったり、冬はスキー、スノーボードに行ったりもしています。

サークルとしては、あと数ヶ月で代替わりの時期になります。野外活動クラブは代によってさまざまなカラーがでるサークルです。ちなみに僕らの代

は山色でした。後輩たちがどんな色を出すか楽しみです。どんな色であれ一生懸命、楽しくやって欲しいです。  
(寄稿/堀田尚志 野外活動クラブ・情報3年)

### サークル紹介 ヨット部 (体育会)

青く輝く海の上を、真っ白なセール(帆)が風を受けて疾走するヨットは、砂浜から見ているだけでも気をひかれるものだ。しかし、実際にヨットに乗ってみると、そこは陸から見たヨットの姿を忘れさせる程の別世界である。水上での体感速度は陸上の2~3倍。波による揺れと合わさって時に恐怖を感じるほどの速度である。まさに水面をすべっていくという表現がぴたりあてはまる。疾走するヨット上での、快感と緊張は他では得難いものがある。

話は変わるが、同じ種類の艇、風の強さでも人によってヨットの走らせ方が異なる。どの走らせ方が最も速いのか、誰が一番速いのか、こんな興味の中からヨットレースは生まれた。海上に浮くマークを回航して帰ってくる。右に行っても左に行ってもいい。ただし必ず、どちらかに有利な風が吹いているもの。それを見破るため、スタート前から風向の振れ角や周期、潮流など様々なことを考慮してコースをひく。レースに勝つこと、それがヨット部員としての使命であり楽しみでもある。

熱い夏合宿を終え、現在は10月に神奈川県葉山町森戸海岸沖で行われる秋季インカレ予選に向けて練習中である。  
(寄稿/高松俊邦 ヨット部・工シス2年)



青い海に浮かぶヨット

### サークル紹介 吹奏楽団 (芸サ連)

こんにちは！私たち筑波大学吹奏楽団は今年で創団25年目を迎え、10月27日(土)には第46回定期演奏会を開催します。普段の活動は1年生から3年生を中心とした、現在80名弱で定期演奏会に向けて日々練習に励んでおります。

当団の活動は春と秋の年2回の定期演奏会を中心として、年間を通じ様々な音楽活動を行っています。その活動は、つくば芸術祭でのSpring Joint Concertなどにおける他団体との演奏会、大学内でのミニコンサート、近隣の幼稚園や保育所への訪問演奏、吹奏楽コンクール・コンテストへの積極的な参加など、非常に多岐に渡ります。これらの多くの活動を、団長以下、指揮者や各楽器のパートリーダー、団員一人一人が「一人一役」で受け持つ係りなどに分担して、お互いに協力し、支え合いながら運営しています。

しかし、勉学優先の大学生活の中で団の活動に、音楽の活動に割くことのできる時間は非常に限られています。その限られた時間の中で各団員達は自分たちの奏でる音楽に、またその舞台を支える裏方の仕事に、最大限の思いと情熱を傾けています。何か一つのことに熱中し、打ち込むことができるものなかなか機会はないでしょう。そして普段の講義や生活では得られない多くのことを学ぶことができます。人と人とのコミュニケーションの方法を考え、実践する事ができます。学群・学類の異なる友人との出会いや、その友と意見をぶつけ合い、お互いの価値観の違いを認め尊重しあい、基本的な人間関係を構築することができます。「音を楽に、楽しむ」ことができます。まさにサークルとは自分を成長させる授業であります。時には音楽を優先してしまうあまりに、本業を疎かにして呼び出しをくろう者もありますが、その間もサークルで多くのことを学ぶのです。

これから吹奏楽団は第50回の定期演奏会を迎え、ますます発展することと思います。その発展を暖かく見守って頂けたら幸いです。(寄稿/河野伸裕 吹奏楽団団長・自然3年)

# 雙峰祭参加課外活動団体一覧

年に一度の雙峰祭は文サ連・芸サ連のサークルにとって多くの人に活動を見てもらえる貴重な機会。それぞれに趣向を凝らして皆様のご来場をお待ちしています。

## 文サ連

**映画研究部** 映画上映会(1D201)OB製作の自作映画も上映します。 **SF研究会アルピレオ** 休憩ステーション(体芸棟4階54A06)休憩所です。会誌や古本も売っています。

**園芸クラブ** 園芸屋さん(一学D棟2階パン売り場)観葉植物と10種類以上の果実酒の販売をしています。ひまわりの看板が目印です。 **海洋研究会** お好み焼きと焼きそばの販売・水族館(一学付近)水族館は実際に会員たちが捕まえてきた魚です。 **華道クラブ** 華展(体芸棟4階54A11)生け花の展示をしています。 **現代視覚文化研究会** 視覚的展示会(一学D棟3階)会員による作品の展示、物品の販売、実演やぬり絵等の企画をやります。 **茶道部和敬清寂社** 神無月茶会(10/7)開学記念館 **児童文学研究会** 展示・駄菓子屋 **社会福祉研究会** 展示・パフェ販売(一学付近)

**手話サークル** 手話劇・広島風お好み焼き販売(一学C棟付近) **TASK** コンペション(体芸棟4階54C03)TRPGのコンペションを行います。S=Fadやブレイド・オブ・アルカナ、ソードワールドなど。 **鉄道研究会** 鉄道模型・写真の展示、研究冊子・つくば時刻表の配布(1C310)時刻表はつくば市民必見。 **点字サークル「てんつく」** ハイパー輪投げ 輪投げと点字教室を行います。 **天文研究会** 宙組:プラネタリウム 星組:天文写真展 月組:公開観望会 **飛行機研究会** 人力飛行機Manbow号展示(二学食堂)鳥人間コンテストの飛行機です。2学付近では鳥のからあげの販売もしています。 **Vicc - 映画を創る会 -** 自主制作映画上映(1D206) **マジシャンズクラブ** テーブルマジック10/7・8(53A11) ステージマジック10/6(大学会館講堂) ステージマジックはその完成度の高さが話題を呼んでいます。 **野生動物研究会** たこ焼き販売・展示・絵葉書やしおり等の販売 **歴史探訪会** 展示(1B308)鎌倉をテーマにした展示です。

## 芸サ連

**アカペラサークルDoo-Wop** Acappella on the Street (体芸棟脇ステージ)10:00~18:00 10/6・8 ライブステージ(松美池ステージ) **E.L.L.** 10/6・8 ライブステージ(一学食堂)12:00~ 10/7 ライブステージ(水上ステージ)10:00~ **合唱団むくどり** 10/6・8 ライブステージ(松美池ステージ)13:00~14:30 **ギター・マンドリン部** 10/8 コンサート(大学会館ホール)14:00~14:30 **つくばフォーク村** 10/6 ステージ(水上ステージ) 10/7 ライブハウス(1E208)終日 **津軽三味線倶楽部無絃塾** 10/7 ライブ(図書館前特設ステージ)7:25~8:05 **Jazz愛好会** Full House(52C01)10:00~20:00 **ピアノ愛好会** 10/8 コンサート(大学会館ホール)午前中 **ブロックプレーテ同好会** 10/7 ステージ(大学会館ホール)10:00~ **落語研究会** 落語(体芸棟2階)10:00~21:00 **写真部** 写真展(大学会館第6会議室)10:00~17:00 **書道クラブ** 書展(大学会館第2会議室)10:00~17:00 **焼き物を作る会** 大展示即売会(体芸棟2階)



昨年の雙峰祭の一コマ(フォルクローレ愛好会/芸サ連)

# 体育会 主な大会の予定

文サ連・芸サ連が雙峰祭で燃えている間、体育会はリーグ戦、インカレで「スポーツの秋」を盛り上げます。

**アメリカンフットボール部** 関東大学アメリカンフットボールリーグ戦 9/15~11/4 **弓道部** 関東学生弓道選手権大会リーグ戦北関東ブロック 10/7~11/4 **硬式野球部** 首都大学野球リーグ戦 10/6~ **柔道部** 国体10/14~10/17 **準硬式野球部** リーグ戦 10/10~ **卓球部** 全日本学生選手権大会10/5~10/8 **軟式庭球部** 秋季関東リーグ戦10/6~ **男子バスケットボール部** 全日本学生バスケットボール選手権大会11/25~ **バドミントン部** インカレ10月 **男子バレーボール部** 秋季リーグ戦 10/6~ **女子バレーボール部** 秋季リーグ戦10/6~ **男子ハンドボール部** 関東大学リ

グ戦10/4~ インカレ11/14~ **ヨット部** 秋季インカレ10/5~10/12 **ライフル射撃部** 全日本学生ライフル射撃選手権大会10/31~11/3 **ラグビー部** 関東大学対抗戦10/7~11/24 **陸上競技部** 国体10/14~10/18 ジュニアオリンピック10/26~10/28 全日本大学女子駅伝11/25 **陸上ホッケー部(男子)** 秋季関東学生ホッケーリーグ9/9~20・21(女子) 9/16~10/28 **オリエンテーリング愛好会** インカレショート11/24~ **相撲倶楽部** 全日本大学相撲選手権大会11/11~ **バレーボール同好会** 秋季同好会リーグ10/6~ **ライフセービングクラブ** 全日学生選手権大会10/13~10/14

# 第27回 筑波大学学園祭 **雙峰祭**

～ 非日常への冒険～

10月6日(土) 7日(日) 8日(祝)



今年度実行委員会  
マスクットキャラクター

「ベンジー」(つちのこ)

## 講演会

「メディアアートの最先端」  
岩井 俊雄氏(アーティスト)  
10/7(日) 14:00 ~  
大学会館講堂

## 公開講座

「マリオパーティーの秘密  
～家庭用ビデオゲームと画像情報圧縮～」  
徳永 隆治先生  
10/6(土) 15:30 ~  
1D204 教室

「2001年世界水泳  
～日本が金メダルをとった理由～」  
白木 仁先生  
10/8(祝) 14:00 ~  
1D204 教室

## 研究所見学ツアー

・プラズマ研究センター  
・加速器センター  
10/6(土)  
受付 13:00 ~ 開始 13:30 ~  
受付場所 図書館前石の広場

## フリーマーケット祭

10/7(日)8(祝)  
11:00 ~ 16:00  
図書館前石の広場

## 対抗CMコンテスト

10/6(土)  
15:00 ~ 16:00  
松美池ステージ  
雨天中止

## 子供企画

「ぼくらのドキドキだいぼうけん」  
10/7(日)  
13:00 ~ 14:00  
松美池ステージ  
雨天中止

「べたんこたんけんたい」  
10/6(土) ~ 8(祝)  
11:00 ~ 16:00  
受付 二・三学案内所横特設テント  
雨天中止

## DISCO

10/8(祝)  
20:00 ~ 21:30  
図書館前特設ステージ  
雨天中止  
その他企画が300以上!

## 交通手段

自動車  
・常磐自動車道谷田部IC - 県道19号 - 県道24号  
- 国道408号 - 筑波大学  
・常磐自動車道桜土浦IC - 国道354号 - 県道55号 - 筑波大学  
・常磐自動車道土浦北IC - 国道125号 - 県道200号 - 筑波大学

鉄道・バス  
・東京駅八重洲南口より高速バス「つくば号」利用  
終点つくばセンターより関東鉄道バス「筑波大学中央」行き  
その他水戸・羽田空港・成田空港・京都・大阪から高速バスあり  
・JR常磐線ひたち野うしく駅東口・荒川沖駅東口・土浦駅西口より  
関東鉄道バス「筑波大学中央」行き

## 問い合わせ

第27回学園祭実行委員会 Tel.0298-53-2899 URL <http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/sZendaikai/sohosai/>

## 筑波大学管弦楽団第50回記念定期演奏会

第50回目の演奏会を記念して、京都・東京・つくばでの初の3回公演を行います。ぜひご来場ください。記念グッズが、通信販売や各会場にてお買い求め頂けます。

京都公演—10/14(日) 14時開演 京都コンサートホール  
東京公演—10/20(土) 19時開演 東京文化会館  
つくば公演—11/2(金) 19時開演 ノバホール

チャイコフスキー 交響曲 第5番  
ブラームス ヴァイオリン協奏曲 第1番

【指揮】小田野宏之  
【独奏】三浦章広(筑波大学OB)

※ 詳しくは同封のチラシをご覧ください。  
※ お問い合わせ 070-6672-4667 (広報担当/荒川)

記念演奏会開催にあたり、皆様の寄付金を同時に募集致しております。  
郵便振替 00340-1-19015 筑波大学管弦楽団OB会 宛  
(通信欄に「50定寄付金」とご記入下さい。)

## 筑波大学応援団桐葉第十一回桐葉ノ舞

- 日時：11月3日(土) 16:30 開場 17:00 開演
- 場所：つくばセンタービル ノバホール
- 問合せ：伊藤壮志 0298(58)2729
- 入場料：無料
- 私たち応援団桐葉は、日頃は筑波大学の体育会各部の応援を中心に活動しています。この「桐葉ノ舞」では、それらの活動の集大成として、今まで培ってきた応援技術とその成果を余すところなく披露します。内容は、リーダー部、チアリーダー部、マーチングバンド部の三部による演舞、チアリーディング、マーチングドリル、演芸などです。皆様お誘い合わせの上、是非ご来場ください。



昨年の演舞会「桐葉ノ舞」より